

和歌山工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	芸術
科目基礎情報						
科目番号	0010		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	生物応用化学科		対象学年	1		
開設期	前期		週時間数	1		
教科書/教材	『高校生の美術 1』(日本文教出版)、スケッチブック、色鉛筆、鉛筆、ボールペン					
担当教員	西垣 至剛					
到達目標						
1 方法の理解に基づき、表現行為を楽しむ。 2 対象を正確に観察し、効果的な表現を行う。 ※美に対する感性を高めるとともに表現を学び理解することは将来どのような職に就いたとしても役に立つ。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目 1	完成させた課題を期限までに提出できる。		一部未完成の課題を期限内に提出できる。		課題を期限までに提出できない。	
評価項目 2	授業での活動に積極的に取り組むことができる。		授業での活動におおむね積極的に取り組むことができる。		授業での活動に積極的に取り組むことができない。	
評価項目 3	表現の方法を理解し、じゅうぶんに実践することができる。		表現の方法を理解し、ある程度実践することができる。		表現の方法を理解して、じゅうぶんに実践することができない。	
学科の到達目標項目との関係						
D						
教育方法等						
概要	美的な表現方法を理解し、作品制作を通じて実践的に学ぶ。					
授業の進め方・方法	講義と演習を中心に授業を進める。事前・事後学習として、課題を課す。					
注意点						
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス……授業の方針、開講日、評価方法、課題、持ち物などを説明し、簡単な実技テストを行う。			
		2週	素描 1……対象を正確に観察することを学び、デッサンを行う。			
		3週	素描 2……対象を正確に観察することを学び、デッサンを行う。			
		4週	色彩 1……効果的な色彩表現を学ぶ。			
		5週	色彩 2……効果的な色彩表現を学ぶ。			
		6週	デザイン……視線の誘導を理解し、ポスター等を制作する。			
		7週	自己表現 1……学習内容を踏まえ、オリジナリティのある自己表現を楽しむ。			
		8週	自己表現 2……学習内容を踏まえ、オリジナリティのある自己表現を楽しむ。			
	2ndQ	9週				
		10週				
		11週				
		12週				
		13週				
		14週				
		15週				
		16週				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル 授業週
評価割合						
	課題・小テスト		授業態度・出席		合計	
総合評価割合	90		10		100	
配点	90		10		100	